平成21年度漁協運動功労者

ＪＦ深浦

代表理事組合長　**森　　長　保**

功績内容

中学校卒業と同時に、磯廻り漁業・一本釣漁業に従事し、昭和50年から漁船漁業の近代化を図りＦＲＰ船14トン型を建造し、イカ釣漁業を専業に、平成10年まで県内外で操業。その洗練された漁業技術は、他の漁業者の模範となり大変信頼されている。また、昭和44年監事、昭和47年に理事、平成11年には代表理事組合長に就任し、優れた指導力と統率力を発揮し、組合員の漁家安定と漁協経営の安定に尽力し現在に至っている。更に、組合員に上架施設をフルに活用させ、漁船の整備・点検を徹底させるとともに、組合員の海難事故防止と人命確保を図るため、救命胴衣の常時着用推進等に積極的に取り組んでいる。